



福見秀雄賞を受賞して



福見秀雄賞授賞式にて渡邊治雄理事長と

多田 達史（香川県立保健医療大学）

このたび第43回福見秀雄賞を受賞し、6月7日に東京会館本館での授賞式に出席してきました。福見秀雄賞は、昭和58年5月に黒住医学研究振興財団が設立した賞で、「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった実務者（技師）で、その領域で功績のある者に贈呈する」とあります。本賞は、香川県からは吉田金三先生（昭和61年）、山岡源治先生（令和4年）に続き3人目となります。私を推薦してくださった香川県臨床検査技師会の皆様に深く感謝申し上げます。

思い返せば、昭和58年に香川医科大学病院に就職し、本賞を受賞された吉田先生にご指導いただいたことが、私の臨床検査技師としてのスタートでした。他にも香臨技の先輩方にご指導いただき、現在があります。当時、臨床検査技師の社会における認知度はあまり高くなくて、先輩方から「君たちが活躍して臨床検査技師の社会的地位をあげて欲しい」と言われたことが昨日のように思い出されます。

私は平成13年に香臨技臨床化学研究班班長、平成22年に副会長として、平成26年から現在までは監事として香臨技に関わってきました。また、平成25年から香川県立保健医療大学准教授、令和2年に教授、令和4から学科長として香川県内唯一の臨床検査技師養成校の職責を果たしています。香臨技の学会運営では第42回中四国支部医学検査学会、第62回日本医学検査学会の実行委員長を務めました。特に全国学会の時は職場が変わった時期と重なり、大変でしたが、私の大きな財産となりました。

さて、40年以上臨床検査技師として、臨床現場と臨床検査技師養成校で仕事をしてきました。福見秀雄賞という栄えある賞を受賞させていただきまして、感謝をお伝えするとともに、最近思うところについて少し話したいと思います。前述にありますが、先輩達から託された臨床検査技師の将来についてです。教育の現場で仕事をするようになってから強く思うことがあります。それは教育の大切さです。基本的には国家試験合格を目指しますし、学内実習では可能な限りシミュレーション教育等を取り入れ、技能取得に努めております。いわゆるZ世代と呼ばれる学生に特徴的な傾向もあり、教育に苦労をすることもありますが、学生は臨床検査技師に夢を持って入学してきます。目を輝かせて入学式に参加し、夢を語る姿は今も昔も変わらないと思います。私が憂いでいるのは教員についてです。臨床検査技師の教育は臨床検査技師が行うことが必要だと考えますが、修士、博士の学位を持った臨床検査技師が少ないのです。私は臨床検査技師として、未来を考えた時に、可能な限り優秀で即戦力になれる臨床検査技師を輩出し続けるには、香臨技の先生方の協力が不可欠だと考えます。どんな小さな臨床的疑問でも研究につながります。研究は最も有効な社会貢献活動だと考えています。折角の研究ですから、修士・博士を目指しませんか？香川県立保健医療大学は、臨床検査技師教育において「知の拠点」を目指しています。是非、皆様と協力させていただきたく存じます。私は、「臨床検査技師が次の世代の臨床検査技師を育て、さらに社会で臨床検査技師が活躍する。」そのような夢を描いています。

最後に長年にわたり研究のご指導くださった諸先生方に感謝申し上げると共に、支えてくれた家族に感謝します。

令和 6 年度第 3 回香臨技理理事会議事録

日 時 ; 2024年8月1日(木) 19:00 ~ 21:00
場 所 ; Microsoft Teams (Web) 会議
出 席 者 ; 宮川朱美(会長)、長町健一(副会長)、太田安彦(事務局長)、香西宣秀(学術部長)、
 十川直美(経理部長)、篠原由美子(広報部長)、森本弘美(福祉部長)、福田智、中澤留美、
 松永徹、虫本一平、戸上祥子、谷本光章、多田智紀(以上理事)、多田達史(監事)、
 木内洋之(監事)、多田亜由(事務局) (順不同)
欠 席 者 ; 小原浩司(副会長)
司 会 ; 宮川朱美
書 記 ; 太田安彦

I. 審議事項

議事 1. 入会・退会者の承認について

〈太田事務局長より〉

- *前回理事会以降の入会申請者が4名、退会申請者が4名である。
*会員数は726名となる。

〈決定事項〉

- ・入会者、退会者について承認された。

議事 2. 香臨技創立 70 周年・法人設立 40 周年記念式典について

〈宮川会長より〉

- *生涯教育の点数の付与およびWeb配信についてどうするか。

〈決定事項〉

- ・参加者には生涯教育点数を20点付与することと、Web配信は行わず記録を撮り、後日配信することを実行委員会で検討する。
 - ・招待状の内容は三役で決定する。

議事 3. 全国「検査と健康展」開催について

＜篠原広報部長より＞

- *臨検タイムスにも掲載したが、9月16日にフジグラン丸亀の生活館の1階エスカレーター横の自販機の前で検査と健康展を行う。機器は借りる手続きをした。お手伝いしていただける人を募集しているので申し出てほしい。15名ぐらいを予定している。

〈宮川会長より〉

- *香川県立保健医療大学学生5名（看護学科を含む）が、学外ボランティア活動の一環として参加を希望している。許可をお願いしたい。

〈決定事項〉

- ・香川県立保健医療大学学生 5 名（看護学科を含む）の参加が許可された。
 - ・9 月 16 日の検査と健康展は理事を含め 8 名、学生 5 名の参加が確定している。15 名程度スタッフが必要なので募集する。各施設で声掛けをお願いする。
 - ・11 月 2 日の検査と健康展は理事 2 名の参加が確定している。大学同窓会との合同開催であり、本学卒業生を中心に声掛けをしていく。

議事 4. 災害対策研修会について

〈宮川会長より〉

- *令和6年度災害支援人材の育成計画に基づくJIMTEF災害医療研修第17回ベーシックコースには森本福祉部長が参加している。(日臨技負担)

* 令和6年度災害支援人材の育成計画に基づくJIMTEF災害医療研修第18回ベーシックコースには多田理事が参加予定である。この費用負担は香臨技負担にすることを了承いただきたい。

〈決定事項〉

- ・令和6年度災害支援人材の育成計画に基づくJIMTEF災害医療研修ベーシックコースには森本福祉部長と多田理事が参加する。
 - ・大規模災害時の支援人材育成講習会は誰でも無料で参加できるので理事及び各施設で希望者は申し込みをお願いする。

議事 5. 新（再）入会研修会について

＜宮川会長より＞

- * 令和6年9月22日（日） 9時～ 香川県立保健医療大学大講義室で開催する。宮川会長、小原副会長、長町副会長、太田事務局長、香西学術部長、篠原広報部長が出席する。受付担当として、2名の理事の参加をお願いしたい。

＜決定事項＞

- ・新（再）入会研修会が令和6年9月22日（日）9時～ 香川県立保健医療大学大講義室で開催される。
- ・事前参加申し込みを行うが当日参加も受け付ける。
- ・参加理事は宮川会長、小原副会長、長町副会長、太田事務局長、香西学術部長、篠原広報部長、松永理事、谷本理事の8名と学術部とする。

議事 6. 都道府県ニューリーダー育成研修会について

＜宮川会長より＞

- * 都道府県ニューリーダー育成研修会を令和7年2月2日（日）に開催する。担当を以前地域ニューリーダー育成研修会に参加された谷本理事にお願いしたい。

＜決定事項＞

- ・都道府県ニューリーダー育成研修会を令和7年2月2日（日）に開催する。担当者は谷本理事とすることが承認された。
- ・各施設の代表者には参加者を募っていただく。

議事 7. 地区別施設代表者会議（Web）の開催について

＜宮川会長より＞

- * 地区別施設代表者会議（Web）を一度開催する方向で調整している。討議内容は全国「検査と健康展」スタッフ募集、災害対策研修、新（再）入会研修会、香臨技創立70周年・法人設立40周年記念式典、都道府県ニューリーダー育成研修会参加者募集についてなどを予定している。開催を検討してほしい。

＜決定事項＞

- ・地区別施設代表者会議（Web）を開催する。時期は今後検討。エリア毎か全体かについても未定。
- ・開催時期の調整にはMicrosoftの機能を利用する。
- ・討議内容は全国「検査と健康展」スタッフ募集、災害対策研修、新（再）入会研修会、香臨技創立70周年・法人設立40周年記念式典、都道府県ニューリーダー育成研修会参加者募集についてなどを予定している。

議事 8. 香川県立保健医療大学大学院の学生募集における広報について

＜多田監事より＞

- * まだHPに掲載されていないが大学院入学の敷居が低くなった。短大や高専や専門学校卒の方でも個別の入学資格審査があるが厳しくなく、どんな論文でも1編以上あれば博士後期課程からでも入学が可能になった。

＜宮川会長より＞

- * HPに香川県立保健医療大学大学院の学生募集要項が掲載される予定の8月6日以降に、一斉メール等で会員に周知することを了承いただきたい。

＜決定事項＞

- ・香川県立保健医療大学大学院の学生募集について、8月6日以降一斉メールで会員に周知する。

議事 9. 香川県地域包括ケアシステム学会 第7回学術集会における一般演題座長依頼について

＜宮川会長より＞

- * 香川県地域包括ケアシステム学会の座長は福田理事にお願いしたい。

第7回学術集会 令和6年12月15日（日）

＜決定事項＞

- ・香川県地域包括ケアシステム学会の座長は福田理事にお願いする。

議事 10. 地域ニューリーダー育成研修会参加者について

＜宮川会長より＞

- * 令和7年1月18日（土）～19日（日）に東京の晴海で行われる。虫本理事が参加をお願いしたい。

＜決定事項＞

- ・令和 7 年 1 月 18 日（土）～19 日（日）に東京の晴海で行われる地域ニューリーダー育成研修会には虫本理事が参加する。

議事 11. 令和 6 年度中四国支部医学検査学会について

＜宮川会長より＞

- * 令和 6 年度中四国支部医学検査学会が 11 月 2 日、3 日で開催される。1 日には前日会議が行われる。
- * 11 月 2 日に保健医療大学で検査と健康展が行われることから前日会議の出席者は宮川会長、長町副会長、香西学術部長の 3 名の予定。
- * 座長依頼については 8 月 5 日から 25 日ぐらいまでの間に決めて欲しいというメールが届いている。

＜決定事項＞

- ・令和 6 年度中四国支部医学検査学会が 11 月 2 日、3 日で開催される。
- ・1 日の前日会議には宮川会長、長町副会長、香西学術部長が出席する。
- ・座長依頼が来たときは施設長の方は推薦をお願いする。

議事 12. 生物試料分析科学会中四国支部学術集会の案内について

＜宮川会長より＞

- * 毎年 HP に掲載している。
- * 8 月 17 日（土）にサンポートホール高松第 2 小ホールで学術集会が 13 時 30 分から開催される。

＜決定事項＞

- ・8 月 17 日（土）にサンポートホール高松第 2 小ホールで生物試料分析科学会中四国支部学術集会が開催されるので、会員に周知する。

議事 13. 令和 6 年度理事会の日程について

＜宮川会長より＞

- * 第 4 回 理事会開催日を検討してほしい。

＜決定事項＞

- ・10 月 1 日（火）に第 4 回理事会を開催する。

議事 14. その他

＜虫本理事より＞

- * 10 月 23 日の精度管理資料配布に対して配布依頼の書面を発行してほしい。年次休暇の場合は事故が起こったとき補償がされないため出張という形にしたい。

＜決定事項＞

- ・精度管理の資料配布担当者には依頼状を出す。

＜虫本理事より＞

- * 新（再）入会研修会では以前は終わった後に懇親会があったが、コロナが明けたが開催はしないのか。

＜決定事項＞

- ・今年度は午前中開催でもあることから懇親会は開催しないが、次年度以降は以前の状態に戻せるようにする。

II. 報告事項

議事 1. ホームページ掲載報告について

＜篠原広報部長より＞

- * 第 12 回せとうち ART 研究会のご案内と中四国支部医学検査学会（第 57 回）一般演題募集延長のお知らせを掲載した。第 12 回せとうち ART 研究会のご案内は臨検タイムスにも掲載している。
- * HP トップ画面の下部のポスターを令和 6 年度日臨技中四国支部医学検査学会のポスターに変更した。右のバナーの日臨技医学検査学会を令和 7 年度の第 74 回日本医学検査学会に、中四国支部医学検査学会を第 57 回中四国支部医学検査学会に変更した。

議事 2. 一斉メール状況報告について

＜太田事務局長より＞

- * 現在メール不達者が 11 名ほどいる。個別に連絡が取れる人には連絡しているので 1 か月前と比べると約半数に減っているが日臨技システムに連絡先が登録されていない人は連絡が取ることができ

ない。今後も順次声掛けをしていく。

議事 3. 会計報告について

<十川経理部長より>

- * 6月に小原副会長から引き継いで経理を担当している。会計報告としては技師会の賛助会員の入会に関して現在26社から申し込みをいただいている。20社は振込が終わっている。香臨技会誌の広告は4社いただいている。70周年・40周年記念誌の広告については2社いただいている。
- * 日本赤十字活動資金として毎年寄付金1万円をしており、今年度も1万円振り込みをした。
- * Microsoft Teams の更新料を支払った。
- * 精度管理用に70万円を振り込む予定、学術部には必要になった時点で振り込む予定である。

<宮川会長より>

- * イシハラ印刷様より賛助会員の会費と臨検タイムス印刷費の請求書を直接頂いたので、十川経理部長にお渡しする。

議事 4. 精度管理委員会報告について

<長町副会長より>

- * スケジュールについては例年通り8月の下旬頃に香川県の精度管理専門委員会で本年度の精度管理事業が承認され、その後申込書を発送し参加施設が決定。試料配布を10月23日(水)に行う予定である。評価表提出、報告書の作成後、最終的には研修会を開催する。研修会は令和7年3月2日(日)に県庁ホールで行う予定となっている。
- * 精度管理の検査項目について、いくつかの部門では新しく検索項目を追加しているところがある。輸血でクロスマッチ精度管理をしたいという要望がある。ただ今年度は準備段階である。一般検査で尿定性試験の精度管理の要望が出ている。

議事 5. 学術部報告について

<香西学術部長より>

- * 研修会は臨検タイムスに記載されている通り順調に開催される予定になっている。学術誌に関するも1題投稿されている。引き続き会員に登録をお願いしている。中四国支部の研修会に関しては一般検査が予定されているが日程等はまだ検討中である。輸血の研修会が8月3日、4日に開催されるが準備に手間取り、会議の回数が増えるなどで予算が少しオーバーするという報告があった。どの程度赤字になってるかはわからない状態である。

議事 6. タスク・シフト / シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について

<森本福祉部長より>

- * 9月29日に第6回のタスクシフト / シェア厚生労働大臣指定講習会を予定している。7月1日から募集を開始して早々に60名の参加登録があった。実務委員は松村前副会長を含む8人、太田事務局長、多田監事にもご協力をお願いしたい。最近コロナが増えているので最悪講師の先生が休まれると開催が危ぶまれるという懸念がある。
- 現在の履修状況はWeb研修終了者が17名、Web研修中の人が62名でここ数週間変動していない。今年度、もう一度、開催するかどうか、また時期について近日中に決めたい。現在、受講済みの人は5割に達していない。Web研修中の人に含め5割程度という状況である。
- * 日臨技から、5年間は地臨技開催、それ以降はある程度集約する予定となっている。5年が終了するものがおそらく来年である。

<宮川会長より>

- * Web研修修了者17名については開催しないとなると近県で受けもらわないといけなくなることが考えられる。中四国支部の開催情報を森本理事と共有する。その内容をもとに次回の開催について検討してほしい。

議事 7. 法人会計勉強会について

<宮川会長より>

- * 第1回 令和6年6月25日(火) 18:30 ~ 19:30
参加者：宮川会長、太田事務局長、十川経理部長
- 第2回 令和6年8月27日(火) 18:30 ~ 19:30

議事 8. 事務局メール報告一覧について

＜宮川会長より＞

- * 事務局から理事あての一斉メール報告一覧を今回から作成するようにした。
- * 地臨技の就任挨拶がほとんどであった。
- * 会員への周知案件は、一斉メールや HP への掲載を実施している。

議事 9. ピペット提供写真の PR 動画への利用について

＜宮川会長より＞

- * 以前香川労災病院の高水前理事から季刊誌ピペットに掲載する写真度提供いただいた。今回日臨技が臨床検査技師の PR 動画を新しく作成するにあたり画像使用の許可を求めてきた。高水前理事を通じて、村橋技師長および写真の技師に同意をいただいたので許可した。

議事 10. 日議連報告について

＜長町副会長より＞

- * 6 月に中四国ブロックの代表者会議があり、島根県の方が引き続き中四国の代表者となった。
- * 連盟ニュースを香臨技の HP で掲載、職場で回覧したりするのに使用してほしいという依頼があった。臨検タイムスと一緒に配布することを検討したい。
- * 現在の連盟加入の割合は、日臨技会員 70,604 名に対して加入口数は 1,428 口で 2.2%、香川県は会員数 721 名に対して加入口数は 37 口で 5.1% であり、いずれにしても加入率が低い状態である。
- * 理事は加入していただき職場での勧誘をお願いしたい。
- * 学会や研修会でも広報活動を行う必要がある。

議事 11. 各研究班班長・副班長・精度管理委員への委嘱状発送について

＜宮川会長より＞

- * 各研究班班長・副班長・精度管理委員への委嘱状を発送した。
- * 十川顧問の委嘱状と名刺を作成し発送した。

議事 12. 日臨技理事会報告について

＜宮川会長より＞

- * 臨床検査技師の紹介ビデオを制作中である。あわせて YouTube のインストリーム広告にも出すことである。今後臨床検査技師の PR の冊子は京都府臨床検査技師会が作成した「臨床検査技師 A to Z」を使用する予定である。
- * 毎年 9 月にアルツハイマー月間活動として HP に日臨技からの配布のバナーの貼り付けをしており、今年もお願いしたい。
- * 日臨技横地会長より都道府県の理事会に参加したいという申し出があった。

議事 13. 電子決済について

＜宮川会長より＞

- * マニュアルについて、藤岡（岡臨技）会長に再度のお願いしている。

令和 6 年 8 月 1 日

一般社団法人香川県臨床検査技師会 令和 6 年度第 3 回理事会において

議事録作成者	太田 安彦
代表理事（会長）	宮川 朱美 ㊞
監 事	多田 達史 ㊞
監 事	木内 洋之 ㊞

香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科募集について

香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科臨床検査学専攻 博士前期課程 博士後期課程の募集が開始されます。進学を希望する方は、香川県立保健医療大学ホームページをご確認いただきか、香臨技事務局kagawarinken@hi.enjoy.ne.jp または下記までご連絡ください。

※短期大学、高等専門学校、専修学校などの各種学校を卒業した方も、個別の入学資格審査により出願資格が認められれば出願可能となりますので、遠慮なくお問い合わせください。

香川県立保健医療大学ホームページ URL <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/postgraduate/>
問い合わせ先 ☎ 761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

《研修会のご案内》

① 令和 6 年度 香臨技 新（再）入会研修会

日 時：令和 6 年 9 月 22 日（日）9:00～12:00
場 所：香川県立保健医療大学 講義棟 3 階大講義室
内 容：「香川県臨床検査技師会・日本臨床衛生検査技師会について」
「医療安全と接遇について」
「香臨技の精度管理事業について」
「技師会広報活動について」
「研究班活動について」
申込み：必要ありません
参加費：無料
生涯教育研修：基礎 20 点

② 令和 6 年度 愛臨技・四県合同研修会（微生物検査研究班）

連絡責任者：松田 明日香 ☎ 087-831-7101（内 8305）
テーマ：『抗菌薬適正使用に向けて～微生物検査に求められること～』
日 時：令和 6 年 10 月 5 日（土）12:30～17:00
場 所：愛媛県立中央病院管理棟 1 階講堂
参加費：2000 円 現地でお支払いください。（非会員の方は、参加費 5000 円）
募集人数：100 名
日臨技生涯教育点数：専門 20 点
内 容：1) 血便主訴の患者に陽性とが検出された症例

- 住友別子病院 臨床検査センター 微生物検査 安藤 健一
- 2) 当院で経験した多剤耐性結核の例
高松市立みんなの病院 検査技術科 近藤 麻衣
- 3) 院内調理師の便検体より無症候性が検出された症例
吉野川医療センター 細菌検査室 妹尾 成美
- 4) 血液培養陽性報告体制の再構築一帰宅患者を中心の一
高知赤十字病院 第一検査部 横本 友美

【講演 I】「抗菌薬の適正使用&検査技師さんに聞きたいこと！仮」

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部・感染制御部 木村 博史 先生

【講演 II】「抗菌薬適正使用における微生物検査室の役割と課題（仮）」

徳島大学病院 検査部 佐藤 雅美 先生

【講演 III】「医師が微生物検査室に期待すること仮」

松山赤十字病院 総合内科副部長 新山 優 先生

参加申込方法：日臨技会員の方は日臨技 HP より事前参加登録をお願いします。

非会員の方または日臨技 HP から参加申込できない方は連絡責任者までご連絡ください。

参加申込期限：9 月 20 日（金）

学術部からのお知らせ

【香川県臨床検査技師会誌 論文募集】

学術部では、香川県臨床検査技師会誌の論文を募集しています。皆様が学会などで発表された研究成果を、この機会に論文としてまとめてみませんか？初めての方でも、担当部門の班長などが親切に指導いたしますので、安心して挑戦できます。詳細な書式については、香川県臨床検査技師会誌の投稿規定をご確認ください。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

締切：令和6年10月23日（水）

連絡先：香臨技学術部 香西（nobuhide@dream.com）

検査と健康展について

全国『検査と健康展』in フジグラン丸亀（スタッフ募集）

日 時：令和6年9月16日（月）9時～16時

場 所：フジグラン丸亀 生活館1F自販機前

内 容：超音波体験、両上肢血圧測定、酸素飽和度、骨密度測定など

備 考：今年度も作業療法士会と理学療法士会の健康フェスタも同時開催されます。

スタッフを募集しています。検査と健康展に参加いただける方は下記連絡先まで
連絡宜しくお願いします。

連絡先：宇多津病院 検査科 篠原由美子まで

TEL 0877-56-7777（内線170） E-mail shinohara@utz.or.jp

・編集後記・



保健医療大学にはテニスコートがあり、コロナ前にはテニスサークルや教員が活動していました。しかし、コロナが広がるにつれて、数年間テニスコートが使われない状態が続いたため、テニスコートに黒い苔が覆い、コートが使用不可能な状態でした。そこで、今年度から活動再開に向けて整備が開始され、黒い苔と古い砂を除去し、その後、教員と学生数人がかりでコートに新しい砂を400Kgまくことで、ついにコートが使えるようになりました。コロナによりできなくなっていたことが、元に戻りつつあると感じた出来事でした。

香川県立保健医療大学 森西 起也

～香臨技 求人情報～

現在、香川成人医学研究所、オリーブ高松メディカルクリニック、高松赤十字病院、香川大学医学部附属病院 病理部、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：森本 弘美（香川県立中央病院 中央検査部）
アドレス：morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先：藤村 一成まで Eメール：ka841zu@crux.ocn.ne.jp
*香臨技ホームページ「会員専用」（ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001）

臨検タイムス香川 通巻349号

令和6年8月発行

【発行所】一般社団法人 香川県臨床検査技師会
〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13 事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】篠原由美子 藤村 一成 太田 安彦

【編集委員】虫本 一平 藤重 和久 森西 起也 森本 弘美

【製作】有限会社シーアンドシーイシハラ